



地域に根ざし、世界に開く



コラボ通信

第 29 号
2012 年 2 月 1 日

目次

- P.1 チャレンジファンド 2011 年度 報告
- P.2 東日本大震災支援
名古屋市障害者スポーツセンター
- P.3 特集：『バングラデシュからのメッセージ』
先生が大学生だった頃… 榑木 勇作 先生
- P.4 CCC 学生スタッフ

CCC とは…

CCC (コミュニティ・コラボレーションセンター) とは、学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かすものにしていけるようにサポートしています。これまでに、多くの学生が CCC を通して、地域に飛び出し、NPO や市民団体、企業などと連携して共に活動しています。



チャレンジファンドとは…

学生が自ら率先して活動し、成長していくプロセスを CCC が応援する仕組みです。活動資金の援助や交流の場の提供などを通して、学生の社会貢献活動を支援しています。



一互一縁

2011 年度 活動写真

ことしのいちまい

写真の詳細、活動報告などは
CCC の HP をご覧ください。



ASU element project



Fsus4 (サスフォー)



はび♡ぼる



福祉貢献学会 (地域密着班)



児童文学研究会「天のひつじ」



国際協力研究会



ヘルパーサークルあじゅあす



坂田ゼミ



コミュカフェ



エコのつぼみ (竹ガール☆竹ボーイ)

報告

東日本大震災支援

医療福祉学部 3 年 宇井 千佳子 さん

2011 年 12 月 23 日（祝・金）、東日本大震災により、名古屋に避難されているご家族を CCC にお招きし、クリスマス会を開催しました。当日は 2 家族をお迎えし、バルーンを使ったクリスマスリースや家族写真入りのクリスマスカードを作り、クリスマスツリーの飾り付けを行いました。お昼には参加者全員で食堂のランチを食べ、交流を深めました。

私たちが子ども達と交流している間、親御さんたちもお互いの近況をお話する時間を作ることができたので、良かったと思います。

このような交流会が、慣れない環境で過ごしているご家族の皆さんの気分転換の場になれば良いなと思いました。



報告

名古屋市障害者スポーツセンター ボランティア

メディアプロデュース学部 1 年 小島 佳菜 さん 位田 佳奈美 さん

私たちは障害者スポーツセンターで、夏は納涼祭、冬はクリスマス会に参加しました。納涼祭では、『ジャンピングバック』というおもちゃを牛乳パックで作し、クリスマス会ではクリスマスカードを作りました。納涼祭の時は初めてだったので、緊張やとまどいもありましたが、クリスマス会の時はだいぶ慣れて、来てくださった方とお話を楽しめる程になりました。



今まで、障がい者の方と関わる機会はあまりなかったので最初は不安に感じていましたが、自分から積極的に話しかけたら、相手もしっかり応えてくださいました。今回経験したことは、普段の生活にも通じることだと思うので、どんどん生かしていきたいと思います。



Letter From Community

名古屋市障害者スポーツセンター 本田 雅子 様

こんにちは。先日は、地域交流事業「クリスマスフェスティバル」におきまして、「クリスマスカード作り」のコーナーをご担当頂きましてありがとうございました。500 人を超える来場者がステージの前や屋台に列を作っていました。できあがったカードを嬉しそうに披露している姿が会場のあちらこちらで見受けられました。人と人とのつながりが大きな力になることをテーマに掲げてみんなで「和」を描いたフィナーレも、一緒に盛り上げて頂きありがとうございました。夏の「納涼祭」とあわせて年 2 回の地域交流事業ですが、CCC の皆さんの企画を楽しみに参加してくださる方がたくさんいらっしゃいます。これからもよろしくお願いいたします。

障害者スポーツセンターでは、様々な方がスポーツを楽しみ、競技力や体力の維持向上を目指しています。障害者スポーツセンターのボランティアに興味がある方はお気軽にお問い合わせください。





『貧困からの脱出～バングラデシュからのメッセージ～』

医療福祉学部 3 年 森戸 力 さん



世界には最貧層（ウルトラ・プア）と呼ばれる人々がいることを知っていますか？
バングラデシュの貧しい女性たちが、日々の貯金としてはじめた「お米のひとつかみ」活動。
活動を中心的行う女性リーダーと、彼女たちを支える（財）アジア保健研修所の元研修生を
ゲストとしてお迎えし、「貧しさ」とは何かを考えるワークショップを行いました。

2011 年 11 月 24 日（木）に、バングラデシュから最貧層の女性グループのリーダーのサビナさんと、彼女たちを支援しているマゼットさんをお招きし、学生との交流会を行いました。日本語、英語、ベンガル語の三言語を使用してコミュニケーションを取るといふ、難しい中での交流会となりました。しかし、通訳として英文学科の足立君や交流文化学科の崎山さん、AHI（アジア保健研修所）のスタッフの方々、参加してくれた学生の協力があり、2 時間という短い間でしたが、お互いが楽しむことができました。交流会の中で、バングラデシュの現状や、貧困女性が直面する問題、子ども達に降りかかる問題、文化によって生まれる問題等を教えていただいたり、バングラデシュの綺麗な場所や大好きなところなどを話していただきました。



参加した学生からは、「こんな機会は滅多になく、現地の人からお話を聞けてよかった。」という感想をいただきました。また、お二人からは「今まで交流しながら話をする機会が無かったので、とても楽しかった。興味を持って話を聞いてくれる人が沢山いて、とても嬉しかった。」との感想をいただきました。

国際支援や国際協力をしていく中で、相手の国の文化を理解する事はとても大切な事で、しかし、身近に感じることはとても難しい事でもあるため、これからも興味を持っていてくれる人がいる限り、このような機会を作っていきたいと思います。



シリーズ 先生が大学生だった頃… Vol.5 橋本 勇作 先生（文学部 英文学科 教授・CCC運営委員）

学生時代はアメリカドルが 1 ドル 160 円程度、イギリスポンドは 1 ポンド 240 円前後の為替相場。親のすねかじりで留学などとは縁のない貧乏学生であったため、いつか海外に行ける日を夢見て英語学専攻の学生らしく英語にのめり込んでいました。

写真はシェイクスピアの英語劇を演じる私。リハーサルを見て心配した担当のイギリス人の先生は、私を呼び出し、ホントに大丈夫かと念を押す。「大丈夫、なんとかやります」と応じたものの、慣れないシェイクスピアの英語に苦闘。英語のネイティブスピーカーの役者さんも観に来た上演当日、とうとう、当日になってもセリフを覚えきれず。喜劇の老人役であったため、セリフを忘れるおとぼけぶりが役柄にマッチして失笑を買う。自分にとって初めての海外の地となるアメリカに行くのは、この 12 年後。

今日のような米ドル 1 ドル 80 円以下、イギリスポンド 120 円前後と自分の学部生時代の半額になるとは、当時誰が予測できたことか。

学生時代は、なかなか先を見通せないと思いますが、現在は為替レートから考えても恵まれた時代です。知識のみではなく、自分の視野を広げるために、若いうちに未知の世界に飛び出す勇気を持ってほしいです。



CCC 長久手学生スタッフ

ながくて環境見本市に出展します☆



ながくて環境見本市とは？

★ 長久手市の環境保全活動に関わる住民や企業、さまざまな団体が集まり情報共有をする場！

★ 環境について住民の人が楽しみながら参加できるイベント！

ーながくて環境見本市出展ブースー

長久手の環境活動を紹介するブースや体験コーナーなどが設けられています。

竹とんぼ作り・アクリルたわし作り・エコバックの展示・エネメーター実演・充電スタンド展示など。

私たち長久手 CCC 学生スタッフもブース出展（廃油キャンドル作り）をします♪

廃油キャンドル作りへの思い

リサイクル方法の一つである廃油キャンドル作りを通して、廃油の破棄方法や活用法を知っていただきます。そして、日頃の生活の中で水質汚濁の原因を作らないように意識をもってもらい、環境について考える 1 日となればと思います。



1. 油を湯煎にかけながら削ったクレヨンを入れて着色しました。



実際につけてみました♪

学生スタッフで
試作品作成中です!!
みんなで楽しく
作ることができました♪



2. 凝固剤で固め、
アロマオイルを入れて...
なんともう完成です!!



ひもを真ん中に
上手に入れるのが
ポイントです!!

日時：平成 24 年 2 月 18 日(土)
12:00 ~ 16:00

場所：福祉の家（長久手市）

ぜひ遊びにきてください♪

編集後記

学スタを始め、3 年が経ちました。3 年間 CCC を通して思ったことは、みんな生き生きと行動しているということです。やらずに後悔するのと、一步踏み出してやりきるのとでは全然違います。やるのもやらないのも自分次第なので、ぜひ自ら学生生活を充実させてください☆

コラボ通信デザイン CCC 学生スタッフ
文化創造学部表現文化専攻 4 年 宮西真以

	長久手キャンパス	星が丘キャンパス
利用時間	9:00~18:30 (授業日以外 9:00~17:00)	
場所	アクティブラーニングスタジオ内	5 号館 1 階
連絡先	0561-62-4111(代)	052-781-1151(代)
E-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	